

2020年 大豊町イベント等開催一覧表(3月時点)

イベント名	実施期間	会場	概要
花祭り	令和2年4月30日 (旧暦4月8日)	大豊町大田口	主催:豊楽寺薬師観光開発推進会
穴内連休まつり	令和2年5月3日	大豊町穴内	大豊町穴内地区「お宝屋敷」で毎年行われているイベント。昭和でレトロなおもちゃや骨とう品にふれていただきながら、様々な催しを楽しんでもらう。 ※参加費:無料 ※駐車場:40台程度  主催:穴内を元気にする会 代表:中西 三男
つつじ祭り	令和2年5月17日	大豊町西峯	西峯地区で毎年行われる地域イベント。国道439号線、京柱峠付近で梶が森が望める絶好のロケーションでの花見イベント。
ハスマつり	7月第2週友引の日	大豊町粟生	大豊町定福寺の境内には日本で7番目に設立された万葉植物園があり、その蓮池で毎年7月中旬～8月中旬の早朝にあでやかな大輪の花を咲かせ、多くの人々を楽しませています。  主催:定福治
穴内夏まつり	令和2年8月予定	大豊町穴内	大豊町穴内地区で行われている夏祭り。各種出店の他、太鼓演奏、カラオケ、お楽しみ抽選会等イベントも盛りだくさんです。また、祭りのプロローグとして、大豊町の盆の伝統行事で町の無形民俗文化財に指定されている「施餓鬼(せがけ)」も行われます。  主催:穴内校下
施餓鬼船 (穴内・無形民俗文化財)	令和2年8月予定	大豊町穴内	お盆の伝統行事で、町の無形民俗文化財に指定されている「施餓鬼(せがき)舟」孟蘭盆会の行事のひとつに迎え火、送り火という風習があり、かつてお盆の13日(旧暦7月13日)の晩に仏様を我が家に迎え、お盆の終わる(旧暦7月16日)に、冥府へ再び帰る仏を送る意味で若竹の先に松の炬火をつけて焚く風習が広く行われていました。特に大豊町では、この風習から変化したものと思われる、極めて大規模な燈籠流「施餓鬼舟」が行われています。  主催:穴内校下
施餓鬼船 (東土居・無形民俗文化財)	令和2年8月16日	大豊町東土居	豊永地区
薬師大祭前夜祭	令和2年8月23日	大豊町大田口	駐車場:50台程度 薬師観光開発推進会

イベント名	実施期間	会場	概要
薬師大祭 (納涼薬師まつり)	令和2年8月24日	大豊町大田口	お釈迦様の誕生日である旧暦の4月8日と、お釈迦様が亡くなられた旧暦の2月15日に行われる大祭で、旧暦4月8日の大祭では、お釈迦様の誕生日に甘露の雨が降り注いだといういわれから、釈迦如来坐像に甘茶をかけてご祈禱を行う。また、旧暦の7月6日には、豊楽寺薬師堂のご本尊である薬師如来坐像の縁日のお祭り、地元地区では、この日に花火大会などの納涼祭を行っている。 ※駐車場:50台程度 主催:大田口地区
施餓鬼船 (大田口・民族無形文化財)	令和2年9月3日	大豊町大田口	主催:大田口地区
棚田の灯火	未定(9月最終土曜)	大豊町岩原	棚田を提灯とキャンドルで彩る。深い山をバックに花火打ち上げなどが行われる予定で、普段と違った棚田の風景を楽しめる。 主催:岩原夢描田会
八畝棚田神祭	未定(旧9月3日)	大豊町八畝	平地が少なく切り立つ山々に囲まれる大豊町は、町内の各地で棚田が見られます。特に八畝の棚田は有名で、田の中心部に八幡さまが祀られた小さな祠(ほこら)があり、「八幡さまの棚田」と呼ばれている珍しい棚田です。田植えの時期には昔ながらの手植えが見られ、夏には一面がきれいな緑で彩られ、秋には黄金の穂やあぜみちに咲く彼岸花などを見ることができ、四季折々の美しい自然の風景と神を祀った棚田の珍しさを見に、多くの方が訪れます。 主催:大豊町八畝 代表:笹岡富子
大杉しめ縄まつり	令和2年10月11日	大豊町杉	国の特別天然記念物に指定されている「杉の大杉」は、樹齢が三千年ともいわれています。2本の杉が根元で合着しているので夫婦スギの愛称で親しまれ、しめ縄でしっかり結ばれています。このしめ縄は、直径25～30cm、長さ33～35m程もあり、年に1回地域住民の手によって縄われ、古いしめ縄とかけ替えを行った後、神事が執り行なわれます。 主催:大杉八坂神社
岩原神楽	令和2年10月15日	大豊町岩原	国指定無形民俗文化財で、天慶(938～947)天暦の頃(947～957)岡崎権六郎重良が伊勢より勧請し、奥荒に社殿を建立し、伊勢大明神として祀ったのがはじまりと伝えられています。 主催:岩原地区

イベント名	実施期間	会場	概要
大砂子獅子舞	令和2年10月16日	大豊町大砂子	この獅子舞の起源は天保年間疫病が流行し庶民がこれに苦しんだとき、大砂子の神職中西永太夫が京都に上り獅子頭を購入して帰り獅子神楽を奉納し、疫病悪魔退散を祈願したことに始まったといわれる。その伝承を裏付ける証左として舞台を作る幔幕に天保12年9月吉日の日付けと神主中西石見の染めぬぎがあるし、それから24年を経た元治2年のもう1枚の幔幕には神主中西能登とある。演技がどのようにして現在のようになったか詳らかでないが、かつて伊勢神宮の下級神職が獅子頭を奉納して地方を巡り家々を清めて祓うていたが、いつの頃からか大道芸化し県下東部の各地にて定着したものと推測されている。土佐の獅子舞は獅子の相手を要するてがい獅子で、てがい役は幼児や少女、またそれに扮した青年であったり、天狗であったりするが大砂子は太夫である。太夫のてがいは土佐では数少ないが、その演出からみて同一系統のものであろう。記録によると太夫の着ける面猩猩面であったようだが、いつの頃からか翁面が変わっている。 主催:大砂子地区
土佐の豊穰祭in嶺北		大豊町中村大王	主催:嶺北地域観光交流推進協議会
おおとよヒルクライムラリー	令和2年12月6日	大豊町中村大王	主催:ラリークラブつるぎ
寺内太刀踊り	令和2年10月28日 (旧暦9月12日)	大豊町寺内・大田口	寺内の若一王子宮に旧暦9月12日に奉納される太刀踊りは明治の終わりごろ、土佐山村(現高知市)中切出身の西本仲次という人によって伝えられたものである。演技は切太刀と受け太刀の二人一組でやる。白鉢巻・赤たすき・白たびをつけ、白衣、黒袴の服装で行う。音頭は太鼓や拍子木で調子を取りながら家内安全、五穀豊穰(たくさんのお穀物が実るように)を祈って行う。近年太鼓も加わるようになった。踊り子はそれに合わせて「アラヨーオイヨー」と掛け声をかけて踊る。 主催:寺内地区薬師観光開発協会
永瀨神楽・百手	令和2年11月3日 (旧暦9月18日)	大豊町永瀨	代表的な百手として「桃原百手」「川戸百手」「永瀨百手」の3つが伝承されている。桃原百手は熊野十二所神社で古式ゆかしく羽織、袴の装束で行われる。また、大豊の西峰以外の百手はほとんど西的であるなかで、川戸百手の矢の的は東的になっている。これは、祭神が宇佐八幡宮の分霊を祀っているため九州本社の西方向を避けて東的にしたといわれ、400年以上の歴史を持っている。一方、永瀨神社の永瀨百手は、総奉行は羽織、袴を着用するが、射場の服装は紺袴、白の上衣といういでたちで行う素朴な百手として知られている。 主催:永瀨地区
星神社 秋季大祭	令和2年11月5日	大豊町庵谷	主催:庵谷地区

イベント名	実施期間	会場	概要
紅葉まつり	令和2年 11月上旬～下旬	大豊町粟生	主催:定福寺
四国ジビエグルメフェスタ	令和2年10月	大豊町中村大王	嶺北ジビエ実行委員会の主催。捕獲した鹿や猪をおいしく食べてもらうことにより、四国の山の食害問題の実態について理解を深めることが目的のイベント 主催:四国ジビエ実行委員会
星神社百手	令和3年3月3日	大豊町庵谷	主催:庵谷地区
かいつり	日程未定	大豊町東土居	主催:東土居地区
そば打ち体験	日程未定	大豊町穴内	主催:穴内あけぼの会
山菜狩りツアー 庵谷	日程未定	大豊町庵谷	田舎ならではの春が旬の、ぜんまい、イタドリ、フキノトウ等の山菜狩りツアー。 中学生以上1,000円 小学生以下500円 ※他体験別途500円 主催:庵谷せせらぎ会
山菜狩りツアー 立川	日程未定	大豊町立川	田舎ならではの春が旬の、ぜんまい、イタドリ、フキノトウ等の山菜狩りツアー。 中学生以上1,000円 小学生以下500円 ※他体験別途500円 主催:立川体験交流の会 代表:長野